

# 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.5 2004年7月10日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校（東横線祐天寺駅、JR 目黒駅下車）  
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

2004年度前期も、あと一週間で夏休み。とは言え、今年は早々に補講がいくつも予定され、すぐには休めないようです。新入生を含む在校生の意欲にあおられ、先生方もがんばっています。主イエスをもっと知り、もっと主イエスに似た者とされたい、それは学生も教師も同じ思いです。暑さの中、学生の皆さんが心身霊肉共に守られるよう祈る日々が続きます。

「ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためです。」（エペソ4：13）

校長 関野祐二

## ● おめでとう、よかったですね

あれは6月初旬の夜、日頃クイズやレポートで苦しめている新入生たちを慰めようと、休み時間に屋上で月や木星をワイワイ観望し、機材を片付けていると、その場に居残った専門科在学中のS兄（掃除大臣の異名も）から、「結婚することになりました。相手はK姉（在校生）です」と暗やみでの告白。思わず、手にしていた大型双眼鏡を落としそうになりました。そうだったので、婚約式の日取りも決まり、校内掲示板に校長名で報告する時の嬉しさ！ 将来の良き伝道者夫婦として、卒業に至るまで整えられるよう、教師学生一同祈っております。挙式は夏休み中。

ところで、はからずも結婚準備会の依頼を受け、校長室にて隔週ペースの学び会。献身者、伝道者は結婚準備も質素に儉約して、の常識を破り、婚約に際してはしっかり記念の品を交換してください、とアドバイス。聖書の教える愛、および私自身の経験から出たことでもあります。夫婦でお招きいただいた婚約式では、各々の指や腕に光るものが見え、密かにホッとしました。

## ● 園芸部長はだれ！？

植えれば育つと豪語はしたものの、育ちすぎて倒れた矢車草やチューリップに手をかける時間もないまま、春が過ぎました。しかし主は新入生の中にお花の師範A姉を備え（園芸部主任）、昨年来の花咲〇〇さんS兄（3月で聴講終了。しかし地元在住のため友情参加で園芸部員）と相まって、ついに聖契神学校ガーデニングブームの到来！ 本館東側、かつて草ぼうぼうだった区域は女子寮ハーブ園に。「どんどん食べてください」のおことばに甘え、シソをそうめんに使っています。何が植わっているのか、知識がないのであとはわかりません（聖書ならぬハーブクイズで逆襲されそう）。さすが沖縄出身A姉らしく、ゴーヤーも育ち、チャンプルーにして食べる日が楽しみ。その他、正面横の植え込み、階段、階段下や通用口前の花壇にも、花や植物がいっぱい。散水用の外水道が近くにないので、理事会に掛け合って設置してもらおうとも考えております。

園芸部長は、水のやり終わった花壇に、毎朝満足そうです。次は何を植えてもらおうかな。

## ● ソフトボール大会、奇跡の三位入賞（学生会ニュース速報より転載）

5月24日月曜日、朝8時半から東村山運動公園で神学校親善ソフトボール大会が行われ、グラウンドには100名を超える神学生が集まった。参加校は聖書宣教会、聖契神学校、中央聖書学院、東京基督神学校、東洋ローア・キリスト聖書学院、東京聖書学院の6校で10チーム。

グラウンドがない我ら聖契神学校は、自主トレにすべてを任せ当日に至った。U学生会会長は授業にレポートに仕事に、と忙しい合間を縫って、バッティングセンターに通っていたらしい。

「一勝ぐらいはしたいよね〜〜」という超弱気の姿勢でいた私たちの前に、ある二人の助っ人が現れた。なんと、このソフトボール大会で4連覇達成中の、聖書宣教会卒業生（ということは今は牧師先生）。OBチームでも作ろうかとフラフラしていた二人をF兄が見かけ、すかさず「ぜひうちの助っ人に！」と駄目もとでアプローチしたら、「じゃあ入ろうか？」との快いお返事。

思わぬ展開に私たちの心も燃え上がった。教会史の丸山悟司先生も駆けつけてくださり、教会役員のごこれまた頼りになる方がプラスされ、私たちはやる気満々で一回戦を迎えた。

しかし！予想に反して初戦惨敗。敗因は守備の配置をあまり考えずに決めてしまったこと。これではいかん、ともう一度守備をF兄が考えてくれた。鉄壁の守備で迎えた二回戦にてついに念願の一勝を果たし、連帯感も深まり、次の試合に臨んだ。相手は優勝候補の聖書宣教会Aチーム。途中まで1-0とリードしていて、「もしかして勝てるかも」と期待したが、最後に逆転されてしまい敗退。しかし、その後東洋ローアに勝利し、なんと結果は10チーム中3位という快挙！

終わった後にチームで集まったが、なんとなくみんな離れがたい感があった。ひとつのことに向かって突き進んだ仲間。いい体験をさせてもらいました（学びもこの調子っ！<校長より>）。

## ● 特別セミナーが10月から始まります

牧会カウンセリング担当の井上誠先生は、米国神学校留学中の専門が「中間時代」（旧新約に挟まれた四百年の空白期間）という二刀流。チャペルや授業で必ず入れるユダヤのジョークがトレードマーク（一部には神学校ベストドレッサーとのウワサあり）。新約担当の私としても、背景となる中間時代の知識に乏しいため、いつか近いうちにセミナーを、と目論んでいました。在校生にアンケートを取り、ふさわしい時間設定や内容を煮詰め、いよいよ10月16日より全9回の特別セミナーという形でスタートすることになりました。テーマは「新約聖書のユダヤ教的背景～中間時代(新約の直接的背景)から新約を学ぶ～」通学/テープ受講ともに可能で(有料です)、毎회가完結した内容ゆえ、部分受講も歓迎。別紙案内書をご覧ください、教職、神学生、OB、信徒を問わず、ぜひご参加ください。私もこっそりテープ受講しようかと思っています(講義中に当てられて難儀しないため！？)。初回は恒例「献身者の集い」午後の公開講演会に組み入れましたので、無料です。参加されればきっと続けて学びたくなりますよ。祝福のため、お祈りを。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 在校生44名が夏休み期間中守られ、9月の前期まとめと10月からの後期学びが支えられるように。後期からクラス担当を開始する松本雅弘師の、教会と神学校での働き。
- ・ 神学校が学びの充実と教師研鑽、交わりと霊的成長、運営等の各面で支えられるように。学生と教師の健康、霊性、教会奉仕、家族や働きが支えられるように。
- ・ 後期からの聴講生が与えられるように。また、来年度に向けた学生募集のため。10月16日献身者の集いに多くの方々に参加されるように。井上師特別セミナーのためにも。